

I 実践

1 実践テーマ

自分を大切にするとともに他の人の大切さを認めることができる生徒の育成

2 活動目標

- (1) 人間の尊さを理解し、差別や偏見のない明るい社会をつくることの大切さを認識できるようにする。
- (2) 人権意識を高め、差別や偏見をなくし、誰もが生きがいのある生活を送ることの大切さを理解し、実践できるようにする。

3 実践内容

(1) 学校教育全体を通した実践

ア あいさつ運動

生徒会やJRC委員会に所属する生徒を中心に年間を通して校内で「朝のあいさつ運動」を行っている。また、今年度は中止となったが、「さわやかマナーアップあいさつ運動」では、学区の小学校2校へ出向き、あいさつ運動を行っている。生徒同士だけでなく、地域の方にあいさつをすることで、地域の方と豊かな人間関係を形成する機会としている。

イ 「人権啓発ポスター」の掲示

昇降口等、生徒の目に入りやすい場所に「人権啓発ポスター」を掲示し人権意識の啓発を図っている。

ウ 夏休みの課題の出品

人権について考える機会として、夏休みに人権作文や書道コンクール等の課題を出し、コンクールにも出品した。

エ 各種調査による意識づけ

毎月の生活アンケートを行うことを通し、いじめや学校生活に関する悩み等を把握し、学校全体でいじめ撲滅への意識を高めた。

オ ボランティアへの参加（今年度未実施）

例年、JRC委員会を中心に年間10回以上ボランティア活動の希望者を募集し、全校生徒が年間1回以上自主的にボランティアに参加している。昨年度の生徒アンケートでは、「年間1回以上ボランティアに参加している」と答えた生徒は、80.6%であった。又、例年、外部が中心となるものとして、宮田学区コミュニティ推進会が毎月第2土曜日に実施している「土曜学校」に参加している。6月と10月には宮田川清掃に参加し、地域の方と保護者と100名以上の生徒が活動する。各活動に、熱心に取り組んでいくボランティア活動を通して、奉仕する心や協力し合う態度を養う機会となった。



【中学校でのあいさつ運動の様子】



【小学校でのあいさつ運動の様子】



【土曜学校の様子】



【宮田川清掃の様子】



【なかまるしえの様子】



【中小路学区敬老会の様子】

カ 「いのちの教育」の実施（今年度未実施）
毎年、3年生を対象に「命の教室」を実施する。
講師の先生を招き、生命の誕生や性感染症について
の話、「これからの自己の生き方」について考える
機会としている。

キ 「認知症サポーター養成講座」の実施
（今年度未実施）
例年、1年生を対象に「認知症サポーター養成講
座」を実施している。認知症にかかってしまった人
の尊厳を守りながらサポートすることの大切さ、そ
のための方法について講話をいただいた。

ク 「地域の人から学ぼう集会」の実施
1年生を対象に「地域の人から学ぼう集会」を実施した。特に日立市内を中心に
ボランティア活動を行っている「NPO法人 ひたち夢元気プロジェクト」の方々か
らは、高齢者や子どもたち、障害のある方々を支援することの大切さや、その活動
が地域の人たちの喜びに変わっていることを教えていただいた。

ケ 生徒指導部員会の開催
毎週一回、生徒指導部員会（校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、各学年生徒
指導担当、特別支援コーディネーター、養護教諭、教育相談員）を開き、いじめや
問題行動について情報交換を行っている。共有した情報や検討した内容を各学年に
伝達することで、全職員で共通理解ができるように、生徒の人権を守るための環境
整備をしている。



【地域の人から学ぼう集会の様子】

4 成果

教育活動全体を通して人権意識の育成を図ってきた。年間を通したあいさつ運動により、生徒から元気にあいさつができるようになってきている。また、教師と生徒間だけでなく、生徒同士でもあいさつをする姿が当たり前になってきている。

授業実践では、道徳や学級活動、社会科などを通して、生徒が人権に対する知識や理解を深めることができた。昨年度、各教科で積極的に「話し合い活動」を取り入れること
によって、周囲の思いや考えを知り、認め合うよい機会となった。

毎年、学区内のボランティア活動に積極的に参加することで、地域の人々の思いにふれ、地域を大切にしようという思いを高まっている。生徒アンケートでも、「地域のよさに気づいている」と答えたのは80.8%で、地域の人々の絆を深め、地域に住む一人の人間としての自覚を高めることができた。

II 今後の課題

進んであいさつができる生徒が増えているが、登下校時以外ではあいさつができない生徒も見られる。必要な場面でしっかりあいさつをする習慣を身に付けさせていきたい。

例年、多くの生徒は、学区内のボランティア活動に積極的に参加していた。しかし、今年度はほとんどのボランティアが中止となってしまう、ボランティアへ積極的に参加する雰囲気弱まっているように感じる。来年度ボランティア活動が再開した時に、また、以前のようなボランティア活動への雰囲気が出るような取り組みを考えていきたい。

また、人権について授業で話し合った内容を実生活に生かせるように、生徒が自分事として考えられる題材の選択と授業展開を研修していきたい。

III 人権コーナーの設置の様子

本校は教科教室型を採用していることを生かし、社会教室の付近の掲示スペースの一角に設置した。現在は社会科の授業と関連づけて、人権に関わるものとして、「人権の歴史」と「日本の領土」について紹介している。「人権の歴史」では、人権思想が台頭した時代のことから、日本に人権と民主主義が確立するまでの経緯や出来事、制定された条文などを紹介している。「日本の領土」では、今後は授業のタイミングに合わせて、領土問題の歴史やなぜ人権に関わるのかなどを紹介する予定である。



【人権コーナー全体の写真】